

公園における多様なワークショップ実践

目的

現在行政の施策は、市民意識の変化や公共事業を取り巻く情勢の変化に対応するため、これまでのトップダウンの行政主導型からボトムアップの市民参加型へと移行しつつあり、適切な合意形成・意思決定のための取り組みが重要視されています。公園関連の事業においても、市民、事業者、行政など役割を明確にして連携する「パートナーシップ」による協働の取り組みが強く望まれています。そのため、緑のまちづくり計画や公園整備、公園の運営管理など、事業の各段階において、市民が直接参加して行政や事業者と連携しながら合意形成を図るための市民参加の手法である「ワークショップ」が積極的に導入されています。

当社でもこれまでに、公園などで様々なワークショップを実施してきました。その一部をご紹介します。

《実績①》パークマネジメントの視点別のモデル公園でのワークショップ実施によるパークマネジメントプラン

パークマネジメントプラン策定に向け、市内の公園を調査して3つに分類し、目指すマネジメントの視点別にモデル公園を抽出してワークショップを開催し、そのアイデアの中から重点事業メニューの提案、協働による公園運営に必要な仕組みやルール等の整理を行い、パークマネジメントプランへ反映

モデル公園別ワークショップの様子

＜テーマ「地域コミュニティによる柔軟で楽しい運営」＞



自治会が主体となって維持管理を積極的に実施している公園を対象に、模範となる公園として組織体制やルール、活動状況等のヒアリングと、今後の活動内容について意見交換



＜テーマ「年間を通したにぎわい・交流」＞



駅から近く、まちの中心部にあるもののあまり活用されていない公園を対象に、事業者による飲食提供やイベント開催の可能性とそのため体制づくりに関して意見交換



＜テーマ「子どもから高齢者まで様々な世代の利用」＞



まちなかのアクセスの良い場所に位置しているが、植栽が暗い・遊具やトイシが古い等の理由で利用度が低い公園を対象に、近隣住民により既存の魅力を活かした公園について意見交換

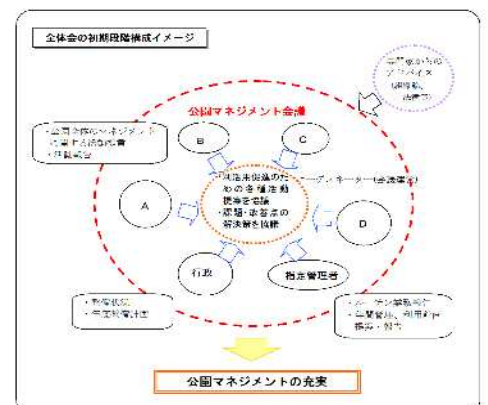


《実績②》様々な市民活動団体や事業者などで構成する県民協働運営組織の活動検討の場となるワークショップ

県営公園の県民協働運営組織「公園マネジメント会議」の運営支援

NPOや指定管理者、学識者など多様なステークホルダーで構成する『公園マネジメント会議』の設立や運営補助を行い、公園の魅力向上のための意見交換をワークショップ形式で実施しイベント開催等の活動を支援

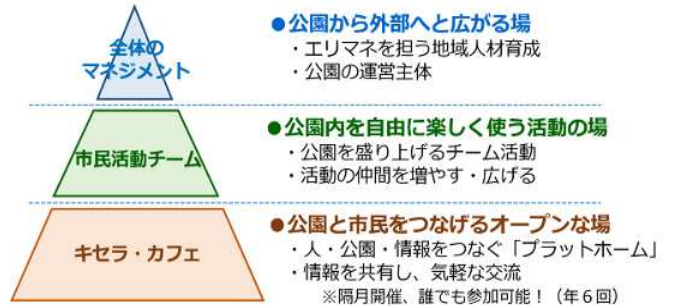
活動内容の話し合いWSと組織構成イメージ



《実績③》計画から施工まで一貫したワークショップ実施による市民主体の運営組織づくり

PFI事業の中で地区内の都市公園の計画・設計段階から市民ワークショップを実施し、開園後も市民の力で公園を盛り上げる活動チームの結成までを支援し、現在は市民協働によるマネジメント組織づくりを目指す

公園づくりの市民ワークショップの運営と公園と市民をつなぐ場「キセラ・カフェの運営」



公園の使いこなしのアイデアを積極的に提案。それらの実現に向け、公園管理者と組織体制や運用ルールについて意見交換

市民が公園でやりたいことを実現するためのワークショップを開催し、活動チームを結成。引き続き結成したチーム間や一般の市民が参加して、情報提供や交流をしながら公園を楽しく盛り上げるためのプラットフォームであるキセラ・カフェを運営

《実績④》市民ニーズを踏まえ、地域資源を活かした公園再整備ワークショップー1

桜を活かした公園再整備計画の市民ワークショップ

再整備ワークショップの様子



再整備計画案の鳥観図



施設が老朽化した公園を対象に、子育て世代が利用しやすいようにバリアフリー化や公園の特色である「桜」を活かした地域の活性化検討、ニーズに沿った施設の再配置についてワークショップにて意見交換

《実績⑤》市民ニーズを踏まえ、地域のシンボルとなる公園の再整備ワークショップー2

プール跡地の歴史を反映した公園再整備計画・設計のための市民ワークショップ



市民に長年親しまれた市民プールの閉鎖を受け、その跡地に再整備のシンボルとして「噴水とせせらぎ」のある水遊びができる公園をワークショップにて意見交換し市民の記憶の継承を図った公園整備を実現